

『県立病院第2期チャレンジプラン～ポストコロナに向けて～』（案）の概要

◇超高齢社会を見据え、「青森県地域医療構想」及び「青森県保健医療計画」で求められる機能・役割に適切に対応し、高度・先進医療を提供していくための体制を強化するとともに、「青森県型地域共生社会」の実現に向け、更なる成長とポストコロナ時代における持続可能な地域医療提供体制を確保するための中期計画。

◇取組期間は令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）の4年間。

県立中央病院の目指す姿

- 県全域を対象とした高度急性期病院として、より質の高い高度・専門・政策医療を提供。
- 地域における切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

1 役割・機能の最適化と連携の強化

高度・専門・政策医療の提供

- がん対策 がん診療センターの充実・強化、緩和ケア提供体制の充実・強化、ロボット支援手術の充実・強化、遺伝性腫瘍への対応など
- 心筋梗塞等の心血管疾患対策 カテーテル治療等の低侵襲治療の拡大、心大血管リハビリテーション科の組織体制の強化など
- 脳神経疾患対策 脳卒中急性期治療の充実、脳神経内科診療の強化・医療連携体制の整備など
- 糖尿病対策 職域を超えた糖尿病地域連携システムの確立
- 精神疾患対策 メンタルヘルスケアの充実、心理・福祉支援の充実
- 周産期医療対策 産科医療体制の機能強化、新生児医療体制の機能強化

- 小児医療対策 医療的ケア児支援体制の強化、小児専門医療の提供体制の強化・専門医の育成
- 救急医療対策 救急医療専門医の人材育成、E I C U・H C Uの遠隔I C U支援受入れの検討、I C Tを活用した救急医療体制の構築
- 災害医療対策 災害医療の提供体制の強化
- 各種診療体制の強化 骨再生医療の臨床実践、高度な血液診療の提供、大腿骨近位部骨折患者の早期手術実施、手術室機能の充実・強化（麻酔科医の確保）、「ロボット外科診療部」新設による機能強化など
- 地域医療構想等の推進 県と青森市の共同経営・統合新病院整備

良質で安全な医療サービスの提供

- 医療の質と安全性の向上 医療の質向上サイクルの定着、クリニカルパスの拡充、治験管理体制の強化など
- 健康教育（予防と健康づくり）の推進 健康教育活動の推進、H I V予防啓発の推進など
- 患者サービスの向上 相談支援体制の充実・強化、患者・家族と医療者の対話推進など

地域医療支援と医療・介護との連携強化 《ポストコロナ関連》

- 入退院支援 療養支援機能の充実と効率化
- 地域医療支援 地域医療・へき地医療の支援強化、女性ヘルスケア診療の充実など
- 在宅医療・介護との連携 あおもり療養検索システム、地域包括ケア支援体制の構築など
- 自治体病院等との連携 自治体病院等との連携強化

2 医師・看護師等の確保と働き方改革

良質な人材の確保・育成と専門能力発揮に向けた体制構築 《ポストコロナ関連》

- 医療従事者の確保・育成と看護・メディカル部門の充実・強化 薬剤業務の機能強化、労働環境向上への取組、診療看護師育成と活動拠点の整備、臨床工学部の機能強化など
- 業務の負担軽減・効率化と働き方改革 医師の時間外労働に係る上限規制への対応、外来予約センターの設置など

3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症への対応 《ポストコロナ関連》

専門人材の確保・育成、感染対策組織のセンター化の検討及び感染予防・感染防止対策等に係る地域支援

※下線部は新規の取組

『県立病院第2期チャレンジプラン～ポストコロナに向けて～』（案）の概要

4 施設・設備の最適化	5 経営の効率化
施設・設備の適正管理及びデジタル化への対応 《ポストコロナ関連》	経営基盤の強化 《ポストコロナ関連》
施設・設備の適正管理と整備費の抑制、情報セキュリティの強化、PHRの活用、医療情報管理体制の強化など	経営マネジメントの充実・強化、材料費縮減に向けた取組の強化、広報・情報発信の充実・強化など

県立つくしが丘病院の目指す姿

- 県内唯一の県立精神科病院として他の設置主体が対応困難な患者の受入体制を強化。
- 患者の円滑な地域移行と社会復帰を促進。

1 役割・機能の最適化と連携の強化	
多職種による質の高い入院医療の提供	多職種・施設間連携による外来医療や訪問支援の展開 《ポストコロナ関連》
医療安全管理体制の強化、計画的退院支援の強化、多職種チーム医療の推進、中央病院放射線部との業務連携など	在宅支援の強化、多様な精神疾患患者への対応、包括的支援の推進、認知リハビリテーション実施体制の強化など
2 医師・看護師等の確保と働き方改革	
人材の確保・育成と働き方改革 《ポストコロナ関連》	3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
医療スタッフの充実、専門性の高い医療従事者の育成、看護師業務のタスクシフト	新興感染症への対応 《ポストコロナ関連》
	感染管理体制強化のため、新興感染症対策に係る病棟・物品等の確保に向けた取組
4 施設・設備の最適化	
施設・設備の適正管理及びデジタル化への対応 《ポストコロナ関連》	5 経営の効率化
施設・設備の適正管理及び計画的更新、電子カルテの導入の検討	健全経営の推進 《ポストコロナ関連》
	医業収益の確保、費用の節減

経営形態の見直し

- ◆県立中央病院では、県と青森市の共同経営による統合病院の新築整備に向けた検討を進めており、令和5年度中を目途に策定する新病院の基本構想・計画において、その経営形態を決定する。
- ◆県立つくしが丘病院では、経営計画の点検と効果等を検証した上で、地域の実情や外部環境の変化等を踏まえ、経営形態の更なる見直しについても検討する。

計画の進行管理等

- ◆毎年度、病院事業管理者によるヒアリングを実施し、計画の進行管理を行うとともに、外部有識者等による点検・評価を行った上で公表する。
- ◆県の保健医療計画及び地域医療構想の改定や共同経営・統合新病院の検討状況を踏まえ、必要に応じてプランの見直し等を行う。

人材計画

- ・医療機能の充実・強化や収益を確保する観点等から4年間で正職員80名の採用を計画。採用方法の多様化、積極的な広報活動等の取組により、安定的な職員の確保に取り組みつつ、配置や業務の見直し等により、増員を最小限に抑え人件費の抑制に努める。
- ・安全・安心で質の高い医療を提供できる専門性の高い人材の育成に取り組むとともに、地域医療を支える人材の育成にも貢献。

区分	R4(2022) 年度現員	計画期間				合計
		R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	
定数内職員(正職員)	1,200	1,255	1,269	1,279	1,280	
対前年度増減		55	14	10	1	80
定数外職員(臨時職員等)	431	444	447	448	448	
対前年度増減		13	3	1	0	17
計	1,631	1,699	1,716	1,727	1,728	
対前年度増減		68	17	11	1	97

収支計画

- ・高度・先進医療に必要な抗がん剤等の高額薬品や高額診療材料等の材料費の増加、電気使用料・燃料費・委託料等の経費の増加、医師・看護師、その他の医療従事者の確保に伴う人件費の増加が見込まれる。
- ・計画期間の収支は、厳しい状況が続くと想定されるが、引き続き収益性の向上及び経費の節減など経営の一層の効率化を図ることにより、収支の改善に努める。

(単位：百万円)

【病院局計】	R3(2021) 年度決算	R4(2022) 年度当初予算	計画期間			
			R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度
病院事業収益	31,128	29,899	31,582	31,227	31,368	31,503
病院事業費用	30,120	30,459	32,571	32,261	32,327	32,025
当年度純損益	1,008	△560	△989	△1,034	△959	△522
一般会計繰入金	4,113	4,272	3,949	2,509	2,518	2,507